

行動と説明責任のための 多様な「声」

#YOUNGWOMENLEAD #16DAYSOFACTIVISM

ジェンダーに基づく暴力に対する16日間のアクティビズム (16 Days of Activism) は毎年11月25日 (女性に対する暴力撤廃の国際デー) から12月10日 (世界人権デー) までの間に行われます。フェミニスト的な価値観、人権原則、暴力のない世界は可能であるという信念に支えられたこのキャンペーンは、世界YWCAの「2035ビジョン」とも一致しています。



2020 のキャンペーン の焦点は

世界YWCAは、今年のテーマ「若い女性がリードする：行動と説明責任のための多様な声」に向けた行動を進めようとしています。そのために、政府には女性や若い女性、少女のさまざまな状況に応じるために、シェルターや安全な場所のための十分な予算の割り当てを、司法制度には、未だに女性と少女の大半に対して正義が否定されている、未解決のジェンダーに基づく暴力ケースへの取り組みを、そしてコロナ禍において、またコロナ後の意思決定過程に女性の参画を優先するよう政府に呼びかけます。

焦点を置いている領域

女性と少女に対する暴力

コロナ禍で敷かれたロックダウン中に、多くの女性と少女が親密なパートナーからの暴力のリスクが高い安全ではない環境で孤立化させられていました。世界中の女性の3人に1人は身体的・性的な暴力を親密なパートナーから受けたことがあり、その内18%が過去12ヶ月の内にそのような暴力を経験しています。

ジェンダーに基づく暴力の防止とそれへの対応は命をも救うもので、国はジェンダーに基づく暴力防止のプログラムを採用し、コロナ禍で必須なサービスを安全に提供することが必要です。

コロナ禍でのHIVへの対策

コロナへの対応は人権と平等に根付くべきで、特に世界中で2010万人もいるHIVと共に生きる女性と少女に注目すべきです。

周縁化を強め、必須の予防策や治療へのアクセスを損なわせるような懲罰的・独断的・差別的な法的・政策手段を取り除き、サービスへのアクセスを可能にする環境を緊急でつくる必要があります。

性と生殖に関する健康と権利 (SRHR) とメンタルヘルス

研究によると、6ヶ月間避妊に関するサービスへのアクセスが制限された場合、低～中所得の国で約4700万の女性が避妊に関するニーズを満たすことができなくなり、今後数ヶ月の間に潜在的には700万人が望まない妊娠をする事に繋がるという予測がされています。

コロナによる制約はストレスや不安を引き起こす高い可能性をはらんでおり、最終的には鬱や自殺、薬物乱用に繋がります。

戦争、正義、平和

国連事務総長の世界的な停戦を求める呼びかけにもかかわらず、コロナ禍でも世界中の紛争が止むことはありませんでした。

暴力的な紛争は、あまりに多くの人たちその大半が女性、若い女性、少女への残酷な現実として残っています。人道危機と武力紛争下の地域における国内避難民女性の5人に1人が性的暴力を受けています。

YWCA- 行動のための基盤

安全とスペースを提供することが鍵になります。その戦略の多くは世界YWCAを含む女性団体によって採用され、今やバーチャル・セーフスペースの取り組みによりリモートでも実践できるようになりました。物理的距離に関する命令を遵守しつつ、対面で、またオンラインのプラットフォーム上でもセーフスペースを開き続けることができるようになったのです。女性と若い女性、少女に届くよう、ジェンダーに基づく暴力への対応を実施し続け、リスクに関するリアルタイムでの情報を発信し続けることが重要です。

ソーシャルメディアでのアドボカシー活動により、「声」が共有される方法が変化してきました。このような文脈にあっても、ベラルーシでの抗議活動における最も印象的なシーンは警察の暴力への終止符を求めて、女性たちが連帯の輪を形作っていたことでした。女性たちは積極的に革命に参加することで、アクティビズムのあり方を再編成しているのです。同様に、女性や若い女性、少女を抑圧し続ける制度に挑むために、オンラインスペースでの革命がなされているのです。

現場で説明責任を求めるアクションも、残っています。スーダンでは、女性たちは抗議活動に参加する人たちに食料や避難所、必要な資源を提供する存在から、抗議活動の先頭に立つようになりました。南スーダンの若い女性は「少女たちに喋らせて」という取り組みを用いて、戦争と暴力のトラウマから回復できるようなプラットフォームを提供し、性とジェンダーに基づく暴力の被害者たちが声を上げられるようにしました。レバノンでは、女性たちはストリートで、「革命はこれまでも、そして今も女性である」というスローガンを掲げ、制度的な変化を求めて市民アクションや闘いを先導してきました。



@Worldywca



@Worldywca



@Worldywca

行動と説明責任のための 多様な「声」

#YOUNGWOMENLEAD #16DAYSOFACTIVISM

ジェンダーに基づく暴力に対する16日間のアクティビズム (16 Days of Activism) は毎年11月25日 (女性に対する暴力撤廃の国際デー) から12月10日 (世界人権デー) までの間に行われます。フェミニスト的な価値観、人権原則、暴力のない世界は可能であるという信念に支えられたこのキャンペーンは、世界YWCAの「2035ビジョン」とも一致しています。



重要な記念日

11/25

女性に対する暴力撤廃の国際デー

1960年にドミニカ共和国のリーダーだった3人の政治活動家のミラベル姉妹が殺害されたことを覚えて、2000年、国連総会は決議54/134 (14)を採択し、公式に11月25日を女性に対する暴力撤廃の国際デーとして制定しました。特にコロナ禍での女性と少女に対する暴力への取り組みを加速させるために政府や政策立案者に対して直接ソーシャルメディア上でメッセージを送りましょう。

連帯国際デーは伝統的に、国際コミュニティが、パレスチナ問題が未解決であり、国連総会で定義された不可侵の権利をパレスチナの人々が未だ獲得できていないという事実に焦点を当てる機会となりました。パレスチナの人々と共に立つことは私たちの責任です。署名にサインして、パレスチナの人々の尊厳を回復するための運動の一部に参加しましょう。

11/29

パレスチナの人々と連帯する国際デー



12/1

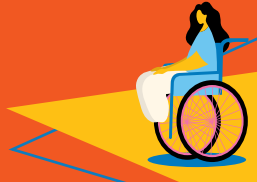
世界エイズデー

1988年に制定され、世界エイズデーは世界中の人々にHIVと共に生きる人々と団結し、サポートを示すよう促し、AIDS関連の病気で亡くなった人々たちを覚えるよう求めてきました。今年のテーマは「グローバルな連帯、共有の責任。HIV検査を受けて、自分の状態を知ろう」です。

障がいを持つ人の権利と健康を促進する日です。しかし、障がいを持つ少女は教育や雇用を求める際に、特殊な困難や障壁に直面しています。インクルーシブであることを促す会話に参加して、障がいを持つ女性、若い女性、少女の健康に着目してみましょう。

12/3

国際障がい者デー



12/5

国際ボランティアデー

1985年、国連総会は国際ボランティアデーに関する決議を採択しました。さまざまな職業および社会的地位にあるボランティアの努力を認識する日となりました。あなたの組織におけるボランティアの素晴らしい働きに感謝を送り、努力を認識しましょう。

この日は16日間のアクティビズムの締めくくりの日であり、また1948年に採択された世界人権宣言を記念する日です。コロナにより女性と少女に対する暴力への終焉を目指す組織の努力が危険に晒されています。16日間キャンペーンの最終日には、意思決定のプロセスの中心に女性を置くよう、すべてのレベルの政府や政策立案者、メディアに訴えましょう。

12/10

世界人権デー



北京+25とGENERATION EQUALITYへの ロードマップ

今年、国際社会は北京会議から25周年を記念します。女性と少女に対する暴力の根絶に向けて苦労して手に入れた国際的な歩みが、コロナにより元に戻りそうになっていますが、あらゆる場所でジェンダー平等と女性と少女のエンパワメントを達成するために鍵になる重大関心領域は：女性と貧困、女性の教育と訓練、女性と健康、女性に対する暴力で、これがジェンダーに基づく暴力に反対する16日間のアクティビズムの目的を形成しています。

YWCA運動を含むすべての女性運動の女性、若い女性、少女が参加し、草の根の実態を共有し、そして北京+25に向けた行動を呼びかけています。2020年が終わりに近づいてきていますが、その声が消えてしまわないようにしてください。私たちの声が重要で、私たちのコミットメントは正真正銘のもので、私たちのために、私たち抜きに私たちのことを決めないでと求めましょう。

北京+25の今、参画し、12の重大関心領域の説明責任を求めましょう。あなたの声をオンラインで共有してください。#16DaysofActivism #YoungWomenLeaders #EndGBV #WorldYWCA #Ratifyといったハッシュタグを使用してください。



コミュニティでジェンダーに基づく暴力に 対抗するためのアドボカシーのアイデア

個人レベル：オンラインプラットフォームをオレンジ色に染めて

- 家庭内での女性と少女に対する暴力について声を挙げましょう
- コミュニティのリーダーにキャンペーンに参加するよう促し、説明責任を求めましょう
- 女性に対する暴力に関する議論に少年や男性を巻き込みましょう
- 地域のラジオ局にリーチして、ジェンダーに基づく暴力に対するアクションを促す
- 活動家とのインスタグラムライブを企画し、説明責任を求めるアイデアについて話し合う

オンライン上のプラットフォーム

- ソーシャルメディアに積極的に参画し、少女たちに声を上げるよう促す
- 女性に対する暴力に関するデータの収集と開示、そして行動を求める署名を政府に対して開始する
- 世界YWCAの#YoungWomenLeadersオンラインパネルに参加して、それぞれのコミュニティで活動する若い女性から学ぶ
- 世界YWCAのオンライン・セーフスペースに参加して、女性と少女に対する暴力に関連した課題を見出す
- 世界YWCAの投稿を自身のソーシャルメディアのページでシェアして、ジェンダーに基づく暴力と平和に関する発信者になる
- 現場で活動する活動家を記念し称賛する
- オンラインで、女性団体に寄付をし、友人をタグ付けして寄付を促す

参考資料

1. <https://www.un.org/en/un-chronicle/global-16-days-campaign-taking-life-its-own>
2. <https://unfpa.unwomen.org/en/news-and-events/stories/2020/09/six-months-of-global-pandemic-covid-19-impact-on-violence-against-women-and-frontline-organizations>
3. https://www.unaids.org/sites/default/files/media_asset/women-girls-covid19_en.pdf
4. <https://www.rescue.org/sites/default/files/document/4981/essentialsofgbvduringandaftercovid-19625vupdated629.pdf>
5. <https://www.unwomen.org/en/digital-library/publications/2020/08/policy-brief-covid-19-and-conflict>
6. <https://www.unwomen.org/en/news/in-focus/csw59/feature-stories>
7. <https://graduatewomen.org/wp-content/uploads/2019/11/2019-16-Days-of-Activism-Against-Gender-Based-Violence-Toolkit-FINAL.pdf>
8. https://www.unaids.org/en/World_AIDS_Day
9. https://www.unfpa.org/sites/default/files/resource-pdf/COVID-19_impact_brief_for_UNFPA_24_April_2020_1.pdf
10. <https://www.un.org/en/desa/world%E2%80%99s-women-2020>
11. <https://www.unaids.org/en/resources/infographics/girls-and-women-living-with-HIVwome>
12. <https://www.unocha.org/story/gender-based-violence-closer-look-numbers>

Toolkit content by

Valerie Awino & Talisa Avanthay

designed by

2626 Creative Studio

funded by

Norwegian Church Aid



@Worldwyca



@Worldwyca



@Worldwyca